

石川病薬ニュース

石川県病院薬剤師会会報

令和7年(2025)/11.30発行 No.190

CONTENTS

- ・卷頭言
- ・石川県病院薬剤師会 新任薬剤師研修会
- ・委員会報告
- ・エキスパートに聞く! ~輝く石川のキラ星~
- ・他都道府県病薬会誌寄贈一覧
- ・南船北馬
- ・寄稿



〔巻頭言〕

信頼を育むということ

恵寿総合病院 室宮 智彦……1

〔石川県病院薬剤師会 新任薬剤師研修会〕

第47会新任薬剤師研修会開催報告	金沢循環器病院 杉本 智美……3
新任薬剤師研修会に参加して	金沢大学附属病院 島名 世南……5
第47回新任薬剤師研修会アンケート結果	6
新任薬剤師紹介	11

〔委員会報告〕

総務委員会

北陸3県病院薬剤師会スポーツ大会を終えて	金沢医科大学病院 石田 有希……19
2025年度 第1回石川県病院薬剤師会ボウリング大会	金沢大学附属病院 三谷 柚里……21

〔エキスパートに聞く！～輝く石川のキラ星～（31）〕

救急認定薬剤師	小松市民病院 小川 依……23
---------	-----------------

〔他都道府県病薬会誌寄贈一覧〕 ………………27

〔南船北馬〕 ………………28

〔寄稿〕「古寺との結縁-67」 院瀬見 義弘…29

〔編集後記〕

〔病薬ニュース発行欄〕



表紙写真 撮影

：熊走 尚志

香林坊交差点

表紙は冬のイルミネーションの香林坊界隈、シルバーに点灯。

武藏界隈はゴールド。

また裏表紙は主計町から暗がり坂へ抜ける道。

巻頭言

信頼を育むということ

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 室 宮 智 彦

恵寿総合病院には病院全体の理念があります。各部署もそれぞれの役割を担っていますが、薬剤管理センターにおいては「信頼を育む」という言葉を理念として掲げています。これは新たに打ち立てたものではなく、日々患者さんと向き合う当院の薬剤師たちの姿を見ていて、「自然とこの方向で関わっている」と感じ、それを言語化したものです。迷ったときに立ち返るべき指針として、また進むべき方向を指し示す灯台として、「信頼を育む」という言葉を大切にしています。

そのための具体的なビジョンとして「安心・信頼・継続」を掲げています。患者さんに安心していたとき、気軽に声をかけてもらえる存在となり、その関係を継続していく。その実現のために「一人でも多くの患者さんに関わる」「問題点があればとことん追求する」という行動指針を設定しました。しかしこれは義務として課すものではなく、あくまで一人ひとりが自分のやり方で関わる中で自然と身についていくものであると考えています。その過程で、知識や技術は必然的に求められ、学びは深まっています。

私はまだ管理する立場としては初心者ですが、役割が変わったことで視野が広がり、院内だけでなく関連施設や地域の病院との連携の重要性を強く実感するようになりました。狭い範囲にとどまっていた自分の視点が、少しずつ大きなつながりへと広がりつつあります。こうした経験を重ねるなかで、「自ら考え、自ら動かなければ前進はない」という思いを強くしています。

朝礼で時折口にする「やらされるのではなく、やる」という言葉は、私自身の実感から出てきたものです。誰かに強いられて動いても、そこに喜びや成長はありません。自分で動き、自分で壁にぶつかり、時には痛みを伴うこともあるかもしれない。それでも切り開いていく過程にこそ成長があり、やりがいにつながっていくのではないかと思います。私はその自由な姿勢を大切にしたいと思いますし、課内メンバーのこうした挑戦を全力でバックアップしていきたいと考えています。ただし、自由であるからこそ、向かうべき方向を共有することが欠かせません。その方向とは、患者さんとの「信頼を育む」という姿勢です。

もちろん、患者さんとの信頼を守るために、インシデントを防ぐ努力も欠かせません。しかし単に

「気をつけます」という繰り返しではなく、私たちは問題点に対して日々対策を講じ、その過程で業務が煩雑にならないよう工夫し、時にはむしろ楽になるような仕組みづくりも視野に入れる必要があります。仕組みの成長を実感しながら仕事ができることは、やりがいにもつながります。

実際、対策を講じた後にその効果がどの程度現れているのか、インシデントが減っているのか、現場にしっかり浸透しているのか、まだ十分に把握しきれているとは言えません。こうした進捗をより確実に確認できるようにしていくことが、今後の課題であると感じています。

さらに最近感じているのは、仕組み以上に、メンバーそれぞれの成長の歩みをどう一緒に確認していくかということです。知識やスキルの習得はある程度見えますが、やる気や主体性といった部分は形にしづらいものです。だからこそ、メンバー一人ひとりの自分のスタイルを尊重し、それぞれの個性や強みをどう伸ばしていくかを考え、互いに支え合える関係を作っていくことが大切だと感じています。そのような関係を築いていくために、理念である「信頼を育む」は患者さんとの関わりだけでなく、メンバーとの関わりにおいても同じように大切です。私自身もメンバーとの信頼を意識しながら、自ら成長していくかなければならないと考えています。

病院全体の方針と歩調を合わせながらも、薬剤管理センターとしてはこの理念を胸に、患者さんに選ばれる存在であり続けたいと思います。そして、ここで働くメンバーが「やらされる」のではなく「自ら進んでやる」という姿勢を持ち、日々の業務に取り組めるように、共に考え、共に成長していかなければ幸いです。

